

理科シラバス 高校2年

1. 学習の到達目標と評価の観点

(科目) 文系生物基礎演習	単位数	学科・学年・学級	使用教科書と補助教材
	2 単位	第 2 学年	・教科書：高等学校生物、高等学校生物基礎（第一学習社） ・資料集：スクエア最新図説生物（第一学習社） ・問題集：セミナー生物基礎＋生物（第一学習社） - チェック&演習生物基礎
学習の到達目標	生物基礎の総復習および昨年度出来なかった実験・実習に取り組むと共に、大学入学共通テストに向けての問題演習を行う。生物基礎の基礎固めをすると共に、応用力を鍛える。		
評価の観点	科学的事実がどのような仕組みで関わりあっているのか、疑問を持ち、知識を活用し、他者と協働しながら、その疑問を解決しようとする姿勢がある。＜主体性・多様性・協働性＞		
	科学的法則や事象について理解を深めるべく、実証したり、それぞれの法則性や事象を比べたり、もしくは互いのつながりや影響を探究したり、自分の考えを発信したりすることができる。＜思考力・判断力・表現力＞		
	科学的事象や、実験もしくは観察結果について考察をする際、その資料を読みとるために必要な知識・技能を身につけられている。＜知識・技能＞		

【点数化が難しい課題については、観点別評価とする。】

- A：「十分満足できる」状況と判断されるもの
 B：「おおむね満足できる」状況と判断されるもの
 C：「努力を要する」状況と判断されるもの
 D：未提出、未実施

2. 学習内容及び評価方法

月	単 元	学習のねらい	実験実習・学習のポイント
一学期 中間	第1編生物と遺伝子 第1章生物の特徴	「生物の特徴」について、復習および大学入学共通テストに向けての問題演習を行う。 選択式の回答方式に慣れる。	・原核細胞と真核細胞の観察をおこなう。 ・顕微鏡の基本的使い方を復習する。 基礎知識の確認については小テストを行う場合がある。 問題演習では、各自で問題を解いた上で、生徒同士で学び合う機会を設ける。 授業内考査はマークシート方式を用いる。（以下、同様）

一学期期末	第1編 生物と遺伝子 第2章 遺伝子とその働き	「遺伝子とその働き」について、復習および大学入学共通テストに向けての問題演習を行う。	・DNAに関する簡単な実験実習を実施する。
二学期中間	第2編 生物の体内環境の維持 第3章 生物の体内環境	「生物の体内環境」について、復習および大学入学共通テストに向けての問題演習を行う。	・体細胞分裂の観察を適宜行う。 ・ブタの臓器を用いた実験を行う。
二学期期末	第3編 生物の多様性と生態系 第4章 植生の多様性と分布	「植生の多様性と分布」について、復習および大学入学共通テストに向けての問題演習を行う。 大学入学共通テスト過去問を解いて、総復習を行う。	・酵素カタラーゼの働き、煮干しの解剖などを実施する。
学期末	生物基礎全範囲	総復習をおこないつつ、30分間で生物基礎の共通テストを解けるよう問題演習を行う。	・実施できる実験や実習があれば行う。

評価の観点及び内容		評価方法（具体例）
科学的事実がどのような仕組みで関わりあっているのか、疑問を持ち、知識を活用し、他者と協働しながら、その疑問を解決しようとする姿勢がある。＜主体性・多様性・協働性＞		実験・実習課題提出
科学的法則や事象について理解を深めるべく、実証したり、それぞれの法則性や事象を比べたり、もしくは互いのつながりや影響を探究したり、自分の考えを発信したりすることができる。＜思考力・判断力・表現力＞		実験・実習課題提出 授業内考査
科学的事象や、実験もしくは観察結果について考察をする際、その資料を読みとるために必要な知識・技能を身につけられている。＜知識・技能＞		授業内考査